



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社
 コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 伊部 幸顕
 (氏名) 森山 茂

TEL 03-3661-1039

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	40,299	△2.2	3,482	△25.6	3,672	△20.9	3,277	12.0
24年3月期第3四半期	41,216	9.2	4,681	70.5	4,641	71.3	2,927	69.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,784百万円 (125.6%) 24年3月期第3四半期 1,677百万円 (6.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	79.28	—
24年3月期第3四半期	70.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	76,769	33,238	43.1	800.21
24年3月期	75,201	30,494	40.4	734.06

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 33,081百万円 24年3月期 30,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00
25年3月期	—	13.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	5.3	4,600	0.7	4,500	1.9	3,500	22.3	84.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	48,290,173 株	24年3月期	48,290,173 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	6,949,409 株	24年3月期	6,945,027 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	41,342,679 株	24年3月期3Q	41,350,229 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景に緩やかながら回復の動きが見られたものの、円高や欧州財政危機の深刻化などもあり、依然として先行き不透明な状況下で推移いたしました。

医療用医薬品業界におきましては、昨年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましても消費低迷により市場競争が激化するなど、ともに厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は402億99百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。一方、利益につきましては、売上高の減少ならびに広告宣伝投資をはじめとして販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益34億82百万円（前年同四半期比25.6%減）、経常利益36億72百万円（前年同四半期比20.9%減）となりましたが、四半期純利益につきましては、債務免除益等を特別利益に計上していることから、32億77百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の海外売上高比率は、12.8%（前連結会計年度12.2%）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内外におきまして市場浸透に一層注力したことにより売上を拡大し、市場シェアを伸長させました。一方、H₂受容体拮抗剤「アシノン」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック」などの製品につきましては、昨年4月の薬価改定の影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は240億85百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「ヘパリーゼ群」につきましては、テレビCM等の広告宣伝投資を積極的に行い製品認知度向上に努めた結果、売上を大きく拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼW」（清涼飲料水）は、一昨年の発売以来、順調に売上を拡大しております。また植物性便秘薬「ウイズワン群」につきましても、堅調に推移いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、引き続きテレビCMを放映するなど販売活動に注力し、圧倒的な市場シェアを堅持しましたが、個人消費の低迷などの影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は160億54百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入等により、当事業の売上高は1億59百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は767億69百万円となり、前連結会計年度末対比15億68百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が285億32百万円で、前連結会計年度末対比13億9百万円の増加、固定資産が482億36百万円で、前連結会計年度末対比2億58百万円の増加となっております。流動資産の増減の主なものは、受取手形及び売掛金の増加13億84百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加1億52百万円、未収入金等流動資産のその他の減少2億53百万円等であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の増加1億13百万円、無形固定資産の減少6億67百万円、投資その他の資産の増加8億13百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は435億30百万円となり、前連結会計年度末対比11億75百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が264億16百万円で、前連結会計年度末対比15億90百万円の増加、固定負債が171億14百万円で、前連結会計年度末対比27億65百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少8億39百万円、短期借入金の増加32億7百万円、社債の償還1億円、未払法人税等の減少3億10百万円、賞与引当金の減少7億19百万円、預り金等流動負債のその他の増加3億51百万円等であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少27億66百万円等であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は332億38百万円となり、前連結会計年度末対比27億44百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上32億77百万円、前期末及び当中間期の配当の実施10億33百万円、その他有価証券評価差額金の増加5億50百万円等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.7%上昇し、43.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績は概ね計画通りに進捗していることから、売上高、営業利益、経常利益につきましては、平成24年8月8日に発表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

一方、当期純利益につきましては、研究開発減税等の効果により税率が当初の想定より下がる見込みであることから、平成24年8月8日に発表いたしました通期連結業績予想から増加する見通しです。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これに伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,713,399	5,740,157
受取手形及び売掛金	12,605,946	13,990,722
商品及び製品	3,696,287	2,781,914
仕掛品	578,912	642,027
原材料及び貯蔵品	1,793,052	2,797,066
その他	2,857,148	2,603,172
貸倒引当金	△21,443	△22,241
流動資産合計	27,223,302	28,532,818
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	6,397,257	6,349,625
土地	11,561,618	11,623,982
その他(純額)	3,089,619	3,188,001
有形固定資産合計	21,048,495	21,161,608
無形固定資産		
のれん	11,846,292	11,333,806
その他	1,261,602	1,106,449
無形固定資産合計	13,107,895	12,440,256
投資その他の資産		
投資有価証券	9,767,121	10,634,959
その他	4,119,752	4,057,407
貸倒引当金	△65,402	△57,515
投資その他の資産合計	13,821,470	14,634,852
固定資産合計	47,977,862	48,236,717
資産合計	75,201,165	76,769,536
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,344,145	2,504,471
短期借入金	14,838,164	18,045,508
1年内償還予定の社債	200,000	100,000
未払法人税等	1,519,041	1,208,353
賞与引当金	1,377,199	657,717
返品調整引当金	112,917	130,159
売上割戻引当金	207,551	191,333
その他	3,227,070	3,578,680
流動負債合計	24,826,089	26,416,223
固定負債		
長期借入金	19,123,247	16,356,525
退職給付引当金	146,257	152,075
資産除去債務	72,395	72,881
その他	538,421	533,019
固定負債合計	19,880,320	17,114,501
負債合計	44,706,409	43,530,725

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	5,414,745	5,414,745
利益剰余金	27,649,621	29,893,820
自己株式	△7,312,575	△7,318,453
株主資本合計	32,345,190	34,583,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,472,509	△922,091
繰延ヘッジ損益	4,664	—
為替換算調整勘定	△527,524	△579,984
その他の包括利益累計額合計	△1,995,370	△1,502,075
少数株主持分	144,934	157,375
純資産合計	30,494,755	33,238,811
負債純資産合計	75,201,165	76,769,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	41,216,662	40,299,654
売上原価	14,186,744	13,514,207
売上総利益	27,029,917	26,785,447
返品調整引当金戻入額	137,817	112,917
返品調整引当金繰入額	168,889	130,159
差引売上総利益	26,998,845	26,768,205
販売費及び一般管理費	22,317,746	23,285,547
営業利益	4,681,099	3,482,658
営業外収益		
受取利息	4,655	6,097
受取配当金	268,481	292,848
その他	59,155	155,795
営業外収益合計	332,291	454,742
営業外費用		
支払利息	222,144	218,674
シンジケートローン手数料	68,500	9,000
為替差損	23,569	—
その他	57,205	36,742
営業外費用合計	371,419	264,416
経常利益	4,641,971	3,672,984
特別利益		
固定資産売却益	166	46
投資有価証券売却益	32,172	—
受取補償金	—	250,000
債務免除益	—	943,150
清算配当金	55,258	—
特別利益合計	87,597	1,193,197
特別損失		
固定資産売却損	1,777	—
固定資産除却損	14,771	491
投資有価証券売却損	—	10,476
投資有価証券評価損	2,050	—
固定資産解体費用	—	28,000
災害による損失	23,100	—
特別損失合計	41,700	38,968
税金等調整前四半期純利益	4,687,869	4,827,212
法人税等	1,720,166	1,534,657
少数株主損益調整前四半期純利益	2,967,702	3,292,555
少数株主利益	40,139	14,770
四半期純利益	2,927,563	3,277,785

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,967,702	3,292,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△958,566	550,418
繰延ヘッジ損益	△38,589	△4,664
為替換算調整勘定	△293,258	△54,007
その他の包括利益合計	△1,290,414	491,747
四半期包括利益	1,677,288	3,784,302
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,643,898	3,771,861
少数株主に係る四半期包括利益	33,390	12,440

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,322,636	16,729,873	41,052,509	164,152	41,216,662	—	41,216,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	114	114	289,620	289,735	△289,735	—
計	24,322,636	16,729,987	41,052,624	453,773	41,506,397	△289,735	41,216,662
セグメント利益	5,579,871	2,666,272	8,246,144	124,370	8,370,514	△3,689,415	4,681,099

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,689,415千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,085,070	16,054,725	40,139,795	159,859	40,299,654	—	40,299,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	127	127	330,112	330,240	△330,240	—
計	24,085,070	16,054,853	40,139,923	489,971	40,629,895	△330,240	40,299,654
セグメント利益	5,108,737	1,873,473	6,982,210	136,135	7,118,346	△3,635,687	3,482,658

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△3,635,687千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	24,085,070	△1.0
コンシューマーヘルスケア事業	16,054,725	△4.0
報告セグメント計	40,139,795	△2.2
その他	159,859	△2.6
合計	40,299,654	△2.2

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成25年2月5日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 予定製品名 アコファイド
フェーズⅢ	Z-103/ ボラブレジンク	自社	味覚障害 プロマック効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅡ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病 アサコール効能追加	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅠ	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK2 受容体拮抗作用	自社品 アジア同時開発

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認	Z-521	自社	低リン血症	リン酸補充 未承認薬開発支援対象 希少疾病用医薬品	自社品 ホスリボン
フェーズⅢ	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma)	潰瘍性大腸炎 アサコール	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ準備中 (欧州、アジア)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK2 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品 : 自社グループオリジナル品